

2025年6月【甲武信ヶ岳】山行報告（日本百名山 グレード:☆☆）

日程 : 6月22日(日)
場所 : 甲武信ヶ岳(2,475m)
天候 : 晴れ
参加者 : 磯崎、鈴木、関口、那須、宮崎、CL小玉、SL田中(健)計7名
行程 : 毛木平登山口 6:45→滑滝 8:45→千曲川・信濃川源流部 10:50→甲武信ヶ岳
12:00→千曲川・信濃川源流部 13:20→滑滝 14:30→毛木平 15:50→解散
(約9時間 約15km)

冬のある日、梅雨の最中となる今回の登山計画を聞いた時は、雨を半ば覚悟していました。しかし、当日は思いがけず晴天に恵まれ、高地の初夏らしい涼やかな気候のもと、千曲川・信濃川の源流を辿り、さらに山頂からは富士山の姿まで望むことができました。

出発は毛木平の駐車場から。晴れ予報の週末とあって朝6時半の時点で満車。路肩に多数の車が溢れていました。各地から集まったメンバーは車に分乗して現地集合。予定よりやや早めの行動開始となりました。

道中は溪流沿いの道を進みます。水辺に近づくと空気がひんやりとし、苔むした風景が広がります。緩やかな登りが続きますが、水の流れは標高が上がるにつれて徐々に細くなり、源流地点では風呂桶程度の小さな窪みに清水が集まり、原初の流れを音もなく作り出している様子が確認できました。

そこは標高2000メートルを超える高地でもあり、高山病に苦しめられたメンバーはCLやベテランメンバーと共に下山し、残りのメンバーはSLと共に山頂を目指すことに。

ここから先は急登となり、標高差400mを一気に登ります。予定した時刻に登頂。山頂から見る富士には雪化粧がなく、途中、挨拶を交わした御仁が今日の富士は素肌美人！としきりに感嘆していたのが印象的でした。下山中、先行するメンバーと合流。標高が下がるにつれて高山病の症状も和らぎ、全員で毛木平に戻ることができました。 (記:田中)



【源流から続く流れ】



【千曲川・信濃川源流地点】



【甲武信ヶ岳山頂】